

美濃
'24
フェスティバル
国際陶磁器

公式ガイドブック
OFFICIAL GUIDE BOOK

2024.10.18[金] - 11.17[日]

メイン会場 セラミックパークMINO



「清流の国ぎふ」
文化祭2024
地域文化発信事業



国際陶磁器フェスティバル美濃'24
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL MINO'24, JAPAN

世界最大級の 陶磁器の祭典

「国際陶磁器フェスティバル美濃」は、日本を代表する陶産地である岐阜県多治見市・瑞浪市・土岐市・可児市を舞台に、1986年から3年に1度開催している世界最大級の陶磁器の祭典です。「土と炎の国際交流」をメインテーマに、陶磁器のデザインと文化の国際的な交流を通じて、更なる陶磁器産業の発展と文化の高揚を目指しています。メインイベントである「国際陶磁器展美濃」は、国際的に認知された陶磁器コンペティションで、世界中の国と地域の作品が一堂に会す展覧会です。そのほか、来場された方々が、美濃焼の歴史や魅力、地域の風土を存分に感じ、楽しむことができる、4市の陶磁器産業・地域・文化に密着した事業を多数開催します。



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

「清流の国ぎふ」文化祭2024とは、岐阜県を舞台に開催される文化の祭典です。「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」をキャッチフレーズに、300を超える文化イベントが繰り広げられます。中でも、国際陶磁器フェスティバル美濃'24は、「清流の国ぎふ」文化祭2024の主要な事業として、国内外のさまざまな陶磁器の魅力を発信する国際色豊かな催事です。

CONTENTS

- 4 …… 名誉総裁のごあいさつ
- 5 …… 会長のごあいさつ
- 6 …… チケット情報
- 7 …… オープニング記念事業
- 8 …… 第13回 国際陶磁器展美濃
- 11 …… 産業・文化・地域振興事業
- 19 …… 構成団体・助成・後援・協賛
- 20 …… 7館入場セット券対象施設
- 24 …… 美濃焼オープンファクトリー
- 26 …… 協賛催事
- 28 …… マップ
- 30 …… イベントカレンダー

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

名誉総裁

佳子内親王殿下



ごあいさつ

日本の名高い陶磁器である美濃焼の産地として知られる岐阜県において開催されてきた「国際陶磁器フェスティバル美濃」が、このたび13回目を迎えますことを、誠に喜ばしく思います。

本フェスティバルの中心的行事として、「国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション」が開催されます。「国際陶磁器コンペティション」には、過去最多である77の国と地域から、過去最多である3,890作品の応募があり、国内外の審査員10名による審査を経て、入賞作品と入選作品が選出されました。「国際陶磁器展美濃」の会場においては、厳選された約200点の作品が一堂に展示されます。ご覧になる皆様には、世界中の作家による情熱や独創性にあふれる作品を味わうとともに、陶磁器の多彩な魅力を感じていただけることと思います。

またこの他にも、「美濃焼で魅せる」をコンセプトに「美濃焼と人」、「美濃焼と花」、「美濃焼と音」、「美濃焼と食」の4つのテーマに沿った催しが企画されています。多くの方々にご来場いただき、様々な角度から美濃焼をお楽しみいただければ幸いです。

「国際陶磁器フェスティバル美濃」が、陶磁器の幅広い魅力を伝え、陶磁器産業と文化の未来を築く上で重要な役割を果たすことを、そしてこの機会に、陶磁器を通じた多様な交流がより一層広がることを願っております。

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会長

岐阜県知事 古田 肇



ごあいさつ

岐阜県は山紫水明の自然に恵まれ、その豊かな森を源とした清流は安らぎと豊かさをもたらし、世界に誇る文化を育んできました。さらに美濃和紙、飛騨の木工、関の刃物、東濃の陶磁器など匠の技を生み出してきました。そして、私たちは、歴史と伝統に培われたものづくりの精神を礎に、研鑽を積み、地場産業を発展させてきました。

とりわけ、多治見市、瑞浪市、土岐市、可児市は、日本はもとより世界でも有数の陶磁器産地であり、その歴史は古く7世紀に始まり、16世紀後半の安土桃山時代には、茶道が隆盛を極める中で、黄瀬戸、瀬戸黒、志野、織部などの優れた茶陶が焼かれました。その自由奔放な発想と既成概念を打ち破るバイタリティーは、時を超え現代の私たちにも多くのことを語り続けています。こうした先人の発想と技術を受け継ぎながら、現在の美濃焼の世界では、和・洋食器、タイルをはじめとする多種多様な製品が産み出されています。

こうした中、「土と炎の国際交流」をテーマに掲げ、1986年から開催している「国際陶磁器フェスティバル美濃」は、多くの皆様のご尽力により、13回目を迎えることとなりました。

メイン催事である「国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション」には過去最多の応募があり、今や世界最大規模の大会となりました。国際的に活躍する著名デザイナーやキュレーターなどにより選考された作品群は、既成概念に捉われない、世界最高水準の傑作であると申し上げても過言ではないと思います。

今後も、「国際陶磁器フェスティバル美濃」が、陶磁器文化の振興や陶磁器産業の活性化に大きく寄与するとともに、世界が注目する陶磁器交流の場として、より一層高い評価を得て、時代を創造する役割を担っていくことを期待しております。

チケット情報

種別	区分	前売	当日
7館入場セット券	—	¥1,200	¥1,500
第13回 国際陶磁器展美濃 単独券	大人(19歳以上)	—	¥800
	シニア(65歳以上)	—	¥700

※高校生、18歳以下の方及び障がい者手帳提示者と付き添い1名は無料(ミライロID可)



〈対象施設〉

第13回 国際陶磁器展美濃
多治見市美濃焼ミュージアム
瑞浪市陶磁資料館
荒川豊蔵資料館(可児市)

岐阜県現代陶芸美術館
多治見市モザイクタイルミュージアム
土岐市美濃焼伝統産業会館

〈前売券購入方法〉

セット券対象施設、ショップ&ギャラリー MI-NO(セラミックパークMINO内)、Boo-Wooチケット(発券: ローソン、ミニストップ)、チケットぴあ(発券: セブンイレブン、ファミリーマート)ほかで販売

7館入場セット券特典

7館スタンプラリー

すべてのスタンプを終えたら、国際陶磁器フェスティバル美濃事務局(セラミックパークMINO内)までお越しください。

素敵な記念品をプレゼントします。

【実施期間】2024年10月18日(金) - 11月17日(日)

※スタンプラリーは、「7館入場セット券」の背表紙にございます。

※スタンプラリーは11月17日または記念品が無くなり次第終了とさせていただきます。



オープニング記念事業

2024.10.18 [金]

14:00 国際会議場
審査員トークセッション



国内外の審査員が再びMINOに集結し、「審査会を振り返って」と題し、それぞれの想いをお話しいたします。

2024.10.19 [土]

清川廣樹氏による金継ぎイベント

13:00 国際会議場
デモンストレーション & 講演
15:00 作陶館
体験ワークショップ (事前予約制)



漆芸修復師の清川氏をお招きして、金継ぎデモンストレーションと講演を行っていただきます。今、世界で注目されている「金継ぎ」を間近で見る絶好のチャンスです。講演会終了後、金継ぎワークショップも開催します。

2024.10.19 [土]

15:00 国際会議場
佐藤卓氏による講演会



グラフィックデザイナーの佐藤卓氏による「セラミックバレー展」に関する講演会を実施。

2024.10.20 [日]

14:00 国際会議場
鈴木夏織氏による
美濃焼オカリナコンサート

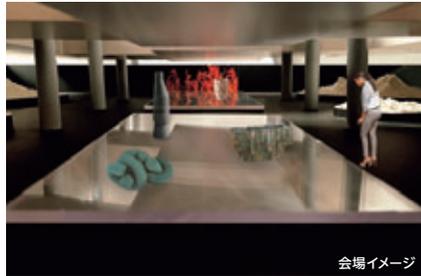


オカリナのプロ奏者・鈴木夏織氏による美濃焼製のオカリナを使ったコンサート。美濃焼の音色をご堪能ください。

① 第13回 国際陶磁器展美濃

2024.10.18[金]～11.17[日] 10:00～18:00 (最終入場17:30) 1F 展示ホール

※10月18日は、12:00～18:00



陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流を通じて、陶磁器産業の発展と文化の高揚に寄与することを目的に開催される国際的なコンペティションで、世界4大陶磁器コンペティションと称されます。

今回は、過去最高となる77の国と地域から3,890作品の応募がありました。国内外の著名な10名の審査員により選ばれた約200作品が、展示会場に並びます。

審査員 (国名は在住国・地域)

陶芸部門



菅谷 富夫
(日本)
大阪中之島美術館 館長



田嶋 悦子
(日本)
陶芸家
大阪芸術大学 教授



ルパート・フォークナー
(イギリス)
ヴィクトリア&アルバート博物館
名誉研究フェロー



クラウディア・カザーリ
(イタリア)
美術史家
ファエンツァ国際陶芸美術館 館長



趙 惠暎 (チョ・ヘヨン)
(大韓民国)
韓国美術デザイン協会会長
ロエベ財団クラフトプライズ専門審査員(2020年～)
フリーのアートディレクター・キュレーター

陶磁器デザイン部門



石崎 泰之
(日本)
岐阜県現代陶芸美術館 館長



吉田 龍太郎
(日本)
Time & Style 代表



山田 節子
(日本)
株式会社トゥイン代表
デザインコーディネーター



パトリック・レイモン
(スイス)
建築家/デザイナー
アトリエ・オイ 共同創設者



横山 いくこ
(香港)
M+ リード・キュレーター

入賞作品 (国名は在住国・地域 / 国籍)



グランプリ
陶芸部門

Kiln

IELIZAVETA PORTNOVA

[フランス / ウクライナ

(France / Ukraine)]

金賞

陶磁器デザイン部門
(ファクトリー分野)

AMU

secca inc.

[日本 (Japan)]





銀賞

陶芸部門

Weaving into Ware

胡 春宇 & 蒋 玉婷
(HU CHUNYU & JIANG YUTING)
[中国 (China)]



銀賞

陶磁器デザイン部門
(ファクトリー分野)

momotto - ももっと -

小田陶器株式会社
天野 里栄
[日本 (Japan)]



銀賞

陶磁器デザイン部門
(スタジオ分野)

**Dot series, Vase**

EOM HEEJAE
[大韓民国 (South Korea)]

銅賞

陶芸部門

connection

蔡 珉雨
(CHAE MINWOO)
[大韓民国
(South Korea)]



銅賞

陶芸部門

蝕基

(eroded moon)
アイザワ リエ
[日本 (Japan)]



銅賞

陶磁器デザイン部門
(ファクトリー分野)

Vocum 21"

STUDIO VOCUM
PIERLUIGI POMPEI AND ADAM FOXWELL
[オランダ (Netherlands)]



銅賞

陶磁器デザイン部門
(スタジオ分野)

Fragment vase

酒井 智也
[日本 (Japan)]

**産業・文化・地域振興事業**

10月18日(金)は全館12:00~18:00となります。

2 アール・ブリュット美濃展

入場無料

2024.10.18[金]~10.30[水] 10:00~18:00(最終入場17:30) 1F イベントホール

『アール・ブリュット』は、フランス語で加工されていない『生の芸術』という意味を持っており、伝統や流行、教育などに左右されず自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術です。今回の展覧会では、障がいのある方達の自分の内側にある想いを「陶、書、画」などの芸術を通して表現した作品を展示します。既存の芸術にとらわれない素晴らしい作品の数々をご堪能ください。

**3 第9回 専攻科陶芸展**

入場無料

2024.10.23[水]~10.28[月] 10:00~18:00(最終入場17:30) 1F 国際会議場



『専攻科 陶磁科学芸術科』は、高卒以上の方を対象とする2年課程の陶芸専門のコースで岐阜県立多治見工業高等学校内に設置されています。やきものに関する知識や技術を基礎から学び、習得することを目指しています。そしてできるだけ広い視野でやきもの世界を捉え、自らの進むべき道を見つけるためにも、作品発表の場を大切にしています。専攻科陶芸展は、修了生が共に作品を発表し、それぞれの制作姿勢に触れて刺激し合う場、共に学び切磋琢磨する場を作ることで、更なる飛躍を目指そうと2012年にスタートさせました。専攻科で学んできた人たちが、やきものに挑み取り組んできた多様な作品群をぜひご覧ください。

4 多治見市陶磁器意匠研究所展

入場無料

2024.11.1[金]～11.5[火] 10:00～18:00(最終入場 17:30) 1F 国際会議場



1959年に、その前身である組合立の美濃焼上絵付研究所が市に移管され、多治見市陶磁器意匠研究所 [ishoken] が発足しました。

以来65年にわたり陶磁器産業・文化への貢献を目指してきた [ishoken] の現在について、産業支援・国際交流・人材育成の観点から紹介します。

5 薪窯陶芸体験プログラム 薪窯をつくる! 薪窯でやく!

窯焚き 第1回 2024.10.19[土]～10.20[日] 作陶館前(屋外)
 窯焚き 第2回 2024.11.9[土]～11.10[日]

国際陶磁器フェスティバル美濃'24の会期中に2回、窯焚きを実施します。
 窯焚きの様子をどなたでも見学いただけます。



6 美濃焼展 (セラミックバレー展)

2024.10.18[金]～11.17[日] 10:00～18:00(最終入場 17:30)

美濃のラーメンどんぶり展 The Art of the RAMEN Bowl

2F 岐阜県現代陶芸美術館
ギャラリーⅡ

ロサンゼルス、サンパウロのジャパンハウスで開催した『美濃のラーメンどんぶり展 (The Art of the RAMEN Bowl)』の凱旋展示を軸に、美濃焼に親しみや関心を持っていただくための企画展です。



入場無料

ヘレンド社との交流

1F 小会議室

ハンガリーのヘレンド磁器博物館で開催した『美濃焼展』の凱旋展示や、世界的な高級磁器であるヘレンド製品の展示に加え、ヘレンド社の社員を交えた講演会も開催します。



入場無料

4市を回遊する移動型クラフトフェア
プレ・セラミックバレー
クラフトキャンプ多治見
 2024.11.9[土] 10:00～16:00
 屋上広場



入場無料

Ways of Earth

ハンガリー・日本陶芸作家交流展

2024.10.18[金]～11.17[日]
 10:00～18:00(最終入場 17:30)
 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム



入場無料

7 第26回 美濃茶盃展

2024.11.8[金]～11.17[日] 10:00～18:00(最終入場 17:30) 1F 国際会議場

入場無料

美濃陶芸協会が主催する2年に一度の『茶盃』限定の公募展。
厳正な審査によって選ばれた茶盃の数々を、ぜひ会場をご覧ください。



美濃茶盃大賞

加藤真美
「タタラ破れ盃」



金賞

清水剛
「塩窯茶盃」



銀賞

齋木俊秀
「織部彩文茶盃」



銅賞

鈴木秀昭
「色絵釉裏金彩光輝茶碗」

8 フラワーアレンジメントコンテスト in MINO

予選：2024.11.2[土](展示：11.2[土]～)

決勝：2024.11.9[土](展示：11.9[土]～)

1F イベントホール ※作品制作時も見学いただけます。

入場無料

美濃焼の花器と色鮮やかな花が互いに引き立て合う作品を通し、
食器だけでない美濃焼の魅力を楽しんでいただけます。

決勝で使用する美濃焼の花器は、
岐阜県内で活躍する国際陶磁器展美濃の銀賞以上の歴代受賞者及び
美濃陶芸協会員の皆様にご提供いたします。

花、花器、そして香りもお楽しみください!



9 美濃焼オカリナ・セラリーナ演奏会

会期中の土日祝日の午後（10.26[土]以降） 1F ホワイエ特別ステージ

観賞無料

地元愛好者による、美濃焼でできたオカリナとセラリーナの演奏発表会を開催します。美濃焼の音色をお楽しみください。



10 多治見美濃焼太鼓演奏

2024.11.9[土] 屋上広場

美濃焼で作られた太鼓を使用。ダイナミックな演奏が楽しめます。



11 美濃 Re (みのり) ランチ

2024.10.18[金]～11.17[日] 11:00～15:00 (ラストオーダー 14:00) 2F レストラン
[数量] 平日20食、土日祝日50食(予約優先) [料金] 3,300円

※10月18日の営業時間については、お問い合わせください。

地域の実り(食材)を最大限に生かす地元有名郷土料理店が監修するランチが楽しめます。食器には、美濃焼業界の環境への取り組みで生まれたRe食器(リサイクル食器)を使用します。



※レストランでは、他のメニュー(食事)もあります。

12 お茶会「美濃焼の茶碗で一服」

会期中の土日祝日 10:00～15:00 茶室「懸舟庵」

※10月18日(金)も開催します。10月18日の営業時間については、お問い合わせください。

一服 800円(お菓子付き) ※お菓子が無くなり次第終了となります。

人間国宝故加藤孝造氏をはじめ著名な作家の美濃焼の茶碗で一服。本物の器で味わっていただけます。

10月18日(金)～10月20日(日)、11月2日(土)～11月4日(祝・月)は、ハンガリー作家の特別な器でお茶を召し上がっていただくこともできます。



加藤孝造〈瀬戸黒〉
セラミックパーク美濃 蔵

13 cafe

2024.10.18[金]～11.17[日] 11:00～16:00 1F ホワイエ(エスカレーター前)

※10月18日の営業時間については、お問い合わせください。

地元美濃焼メーカーの「こだわりの器」で、お飲み物をお楽しみいただけます。



14 ショップ&ギャラリー MI-NO

2024.10.18[金]～11.17[日] 10:00～17:30 2F ショップ&ギャラリー MI-NO

※10月18日は、12:00～17:30

セラミックパークMINO内の美濃焼のセレクトショップです。窯元による普段使いの器から、陶芸作家の作品やタイル製品まで、陶産地ならではの旬な美濃焼を取り揃えています。その他、地元で愛されるお菓子などもあり、美濃の地を訪れた記念のお土産や贈り物に出会うことができます。



ショップ&ギャラリー MI-NO

構成団体

岐阜県
多治見市
瑞浪市
土岐市
可児市
日本陶磁器工業協同組合連合会
日本陶磁器卸商業協同組合連合会
全国タイル工業組合 岐阜県支部
岐阜県陶磁器産業連盟
多治見商工会議所
瑞浪商工会議所
土岐商工会議所
笠原町商工会
岐阜県陶磁器工業協同組合連合会
岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会
岐阜県タイル商業協同組合連合会
岐阜県窯業原料協同組合

岐阜県石膏型工業協同組合
岐阜県陶磁器デザイン協議会
岐阜県陶磁器デザイナー協会
岐阜県石油商業組合 多治見支部
公益社団法人美濃陶芸協会
日本貿易振興機構 岐阜貿易情報センター
一般社団法人岐阜県発明協会 多治見支会
一般社団法人多治見建設業協会
一般社団法人多治見青年会議所
一般社団法人瑞浪青年会議所
一般社団法人土岐青年会議所
多治見市美濃焼ミュージアム
多治見国際交流協会
公益財団法人セラミックパーク美濃
株式会社中日新聞社
一般社団法人セラミックパレー協議会

助成

東濃西部広域行政事務組合
とうしん地域振興協力基金

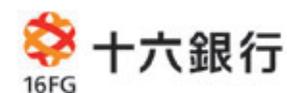
後援

外務省
経済産業省
文化庁
中小企業庁
岐阜県教育委員会
多治見市教育委員会
瑞浪市教育委員会
土岐市教育委員会
可児市教育委員会

協賛



Daiwa Securities
多治見営業所



岐阜県現代陶芸美術館

生誕130年 荒川豊蔵展

2024.9.14[土]～11.17[日]

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5 セラミックパークMINO内 TEL:0572-28-3100
 開館時間：午前10時～午後6時（最終入館：午後5時30分）
 定休日：月曜日（祝日の場合は翌平日）ただし、フェスティバル期間中は無休
 駐車場：無料（約300台、臨時駐車場約200台）
 単独入場料：大人1,000円 / 大学生800円 / 高校生以下、障がい者手帳提示者とその付き添い1名は無料（ミライロID可）

近代日本の陶芸をリードした、岐阜県多治見市出身の荒川豊蔵（1894-1985）の人となりを振り返る展覧会です。桃山時代の志野が美濃で焼かれていたことを、自ら発見した陶片により実証し、そして「志野」と「瀬戸黒」の二つの重要無形文化財の保持者（人間国宝）となった荒川は、現代に続く美濃陶芸の先駆者でした。陶芸をはじめ書画や収集の品々のほか、交友や暮らしぶりをうかがう資料などで、その制作姿勢やまなごしを紹介します。



荒川豊蔵《志野水指》
1938-41年
岐阜県現代陶芸美術館蔵



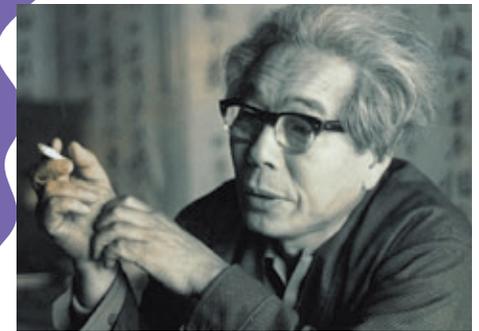
多治見市美濃焼ミュージアム

『没後40年 陶磁器デザイナー日根野作三 — 人をつなぐデザイン 美濃の足跡 —』展

2024.9.7[土]～2025.1.26[日]

〒507-0801 岐阜県多治見市東町1-9-27 TEL:0572-23-1191
 開館時間：午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
 定休日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
 駐車場：無料（約50台）
 単独入場料：大人320円 / 大学生210円 / 高校生以下、障がい者手帳提示者とその付き添い1名は無料（ミライロID可）

本展覧会では陶磁器デザインの先駆者として知られる日根野作三（1907-1984）を紹介します。日根野は戦後日本の陶磁器業界において美濃をはじめ、愛知・三重・滋賀などを巡り、デザインの普及と教育に貢献した人物です。本展では作品資料から日根野作三の生涯をたどり、没後40年を迎える日根野作三の活動を再考します。



日根野作三肖像
1966年
三重県立美術館蔵



多治見市モザイクタイルミュージアム

青の誘惑 — タイルにみる青の世界 —

2024.9.14[土]～2025.3.9[日]

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082-5 TEL:0572-43-5101
 開館時間：午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
 定休日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
 駐車場：無料（約180台、臨時駐車場約110台）
 単独入場料：大人310円 / 高校生以下、障がい者手帳提示者とその付き添い1名は無料（ミライロID可）

本展は「青」という色の視点からタイルの魅力を伝える展覧会です。人間の傍らにあり続けてきた「青」色は、時代や場所を問わず普遍的な価値をもっています。本展では収蔵している青色タイルを年代順に辿り、山内逸三氏の「青」にもスポットを当てます。そして20社を超える企業に呼びかけ、各社が誇る青色タイルを茶室をイメージしたホワイトキューブのなかにあしらひ、現代タイルにおける「青」の新たな可能性を提示します。



マジヨリカタイル（錦葉山内タイル製陶所）
昭和5年頃
多治見市モザイクタイルミュージアム所蔵



瑞浪市陶磁資料館

瑞浪市制70周年記念 特別展 美濃近代窯業の開拓者 曾根磁叟園製陶所

2024.10.12[土]～2025.2.23[日]

〒509-6132 岐阜県瑞浪市明世町山野内1-6 TEL:0572-67-2506
 開館時間：午前9時～午後5時（最終入館：午後4時30分）
 定休日：月曜日（祝日の場合は開館し、火・水曜日が休館）、祝日の翌日、資料整理休館日（12.3[火]、1.31[金]）、年末年始（12.28[土]-1.4[土]）
 駐車場：無料（約20台）
 単独入場料：大人200円 / 高校生以下、障がい者手帳提示者とその付き添い1名は無料（ミライロID可）

曾根磁叟園製陶所は、文久元年（1861）に現・瑞浪市陶町猿爪で創業した陶磁器メーカーです。大正時代から昭和時代初期には原料採掘やタイル製造なども行って美濃の窯業会を牽引し、戦後には日本を代表する洋食器メーカーへと成長しました。本展では、曾根磁叟園製陶所が明治時代から平成時代に生産した洋食器等を展示するとともに、展示品や社史等を掲載した図録を刊行します。



花文洋食器揃
昭和初期
瑞浪市陶磁資料館蔵



土岐市美濃焼伝統産業会館

土岐市美濃陶磁歴史館 館外展示 ポスト織部の時代

2024.10.5[土]～2025.1.26[日]

〒509-5142 岐阜県土岐市泉町久尻1429-8 TEL:0572-55-5527
 開館時間：午前9時～午後4時30分
 定休日：月曜日（月曜日が祝祭日の場合、月曜日は開館し、火・水曜日休館）、
 祝祭日の翌日（土曜日が祝祭日の場合、日曜日は休館し、火曜日休館）、年末年始
 駐車場：無料（約120台） 単独入場料：無料

安土桃山時代から江戸時代初頭のみ濃窯では、畿内での茶の湯の流行を受け黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部といった美濃桃山茶陶が生産され、その後、織部に代わり「御深井」と呼ばれる中国の青磁を意識した焼物を生産するようになります。御深井の生産が始まった元和年間（1615-1624）は、徳川幕府が安定を迎えた時代で且つ、天下一の茶人が古田織部から小堀遠州へと受け継がれた時代です。本展では、御深井を中心にその特徴と生産の意味について考えます。



御深井釉茶碗
17世紀前期
窯ヶ根窯



荒川豊蔵資料館（可児市）

荒川豊蔵生誕130周年記念 特別展 豊蔵の志野・瀬戸黒 ～美濃桃山陶への挑み～

2024.10.4[金]～12.1[日]

〒509-0234 岐阜県可児市久々利柿下入会352 TEL:0574-64-1461
 開館時間：午前9時30分～午後4時（最終入館：午後3時30分）
 定休日：月曜日、祝日の翌日（祝日は開館）
 駐車場：無料（約23台）
 単独入場料：大人210円 / 高校生以下、障がい者手帳提示者とその付き添い1名は無料（ミライロID可）

令和6年、荒川豊蔵の生誕130年を迎えます。本展ではこれを記念し、豊蔵が人間国宝認定を受けた「志野」「瀬戸黒」に着目します。美濃焼という産地の認定ではなく、個々のやきもでの認定は、技法の特殊性が反映されています。今回、その技の紹介とともに、豊蔵の桃山陶再現から独自の表現を展開していった過程をみながら、年代ごとの作品を展示します。桃山陶とは一味違う豊蔵作品をご堪能ください。

同時展示：夫婦の絆展



志野茶碗 銘耶登能鳥梅
荒川豊蔵
昭和45年（1970）



美濃焼オープンファクトリー

角山製陶所

「角山製陶所」は明治30年創業。
手描きで一つ一つ丁寧に仕上げた製品づくりをしています。もろ板の上に並んだ製品や、中庭で乾燥させる日常作業の様子などを見ながら陶芸体験ができます。

工場見学及び陶芸体験、絵付け体験

料 金：陶芸体験 4,000円
絵付け体験 1,500円
予約方法：電話 0572-55-2886
問い合わせフォーム



WEB

七窯社 (有) 鈴研陶業)

普段見ることができない、役物タイルやアクセサリーの作成の裏側を見学できます。
ワークショップでは、素地に色を付けたたり、削ったり、やきものアクセサリー制作体験ができます。

工場見学及びワークショップ

料 金：1名様 3,500円
(2名以上の場合は1,000円引きで1名様2,500円)
予約方法：電話 0572-22-0388
問い合わせフォーム



WEB

日東製陶所

タイルの工場見学とタイルコースター制作ができます。自社プロデュースの「スワントイルカフェ」のドリンク1杯付きの特別プランです！

工場見学・ワークショップ

料 金：1,000円
予約方法：電話 0572-27-2155
メール mina-kato@nittoseitoshco.jp
ご希望日、お名前、ご連絡先、人数をお知らせください。



WEB

株式会社オザワモザイクワークス

モザイクタイルの製造をみていただき、タイルを使った小物づくりをしていただけます。

工場見学及びワークショップ

料 金：2,500円～
予約方法：HPのCONTACTからお申込みをお願いします。



WEB

株式会社セラメッセ

タイルの工場、ショールームを見学し、タイルの製造工程を見学できます。タイルを使ったワークショップもあります。

工場見学及びワークショップ

料 金：工場見学 300円
ワークショップは別途料金。
予約時にお申込みください。
予約方法：電話 0572-43-3213



WEB

幸兵衛窯

「幸兵衛窯」は1804年(文化元年)開窯。
本館、展示室(特別展)、古陶磁資料館、工芸館、アクセサリー作成の様子の見学のほか、アクセサリーの絵付け体験ができます。

工場見学・ワークショップ

料 金：見学 300円
絵付け体験 国内 5,500円(送料含)
" 国外 11,000円(送料含)
予約方法：電話 0572-22-3821
メール info@koubei-gama.co.jp



WEB

丹山窯 有限会社 丸達製陶所

丹山窯は1952年創業の72年続く土岐市駄知町の窯元です。手描きの器にこだわった、丹山窯でしかできない器を製造しています。土練から絵付けまでの工程を1時間程度で見学できます。

工場見学

料 金：無料
予約方法：電話 0572-59-4188(電話予約可)
ご予約は2日前までに行ってください。製造の都合上、日程によってはお断りする場合がございますので、ご了承ください。



WEB

杉浦製陶株式会社

タイルの工場とショールームの見学ができます。タイルが作られる現場や、タイルを焼く窯を間近で見ることができます。

工場見学

料 金：無料
予約方法：メールにて予約 info@sugy.jp
InstagramのDM @sugy.ceramic.tile



WEB

土岐市観光協会

やきもの生産日本一のまちで味わう特別な「とき」
“土岐市”のいろんな「とき」がひらきます。
普段できない体験などを楽しくみください！

ひらく、とき。土岐市 OPENDAY

料金、予約方法は「ひらく、とき。」
総合サイトをご覧ください。



WEB

だち窯やネット

陶磁器の産地「駄知」町の窯元をめぐり、工房の見学や常設ギャラリーでの買い物ができます！

だち窯やめぐり

料 金：無料
予約方法：「だち窯やネット」
webサイトをご覧ください。



WEB

※QRコードは、掲載期間等によって内容が変更する場合があります。

協賛催事

展覧会等

アートとともに

2024.7.4 - 9.29
とうしん美濃陶芸美術館



ミッフィーとあたたかなくらし

2024.8.1 - 11.24
こども陶器博物館



やきもの最前線 国際陶磁器展美濃受賞者の現在 -Part1-

2024.9.1 - 10.27
多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス



ishoken gallery vol.16 中井波花展

2024.9.21 - 11.17
多治見市陶磁器匠研究所 所内



追悼・遺贈記念特別展

人間国宝 加藤孝造 平柴谷陶房
2024.9.21 - 11.24
可児郷土歴史館



太白焼 ~近代美濃のはじまり~ 展

2024.9.27 - 11.24
市之倉さかづき美術館 1階企画展示室



しばたあや美展

2024.9.28 - 10.20
織部うつわ邸



みの ちゃんひやくプラス にまるとん

MINO 茶碗 100+ -2024-
2024.10.3 - 12.22
とうしん美濃陶芸美術館



にじゅうごしゅうねんきかく す てん

25周年企画 好きなかたち展
2024.10.5 - 10.20
ギャラリー数寄



ART in YELL

2024.10.8 - 11.17
とうしん学びの丘「エール」



本町オリベストリート「まちなか美術館」

2024.10.12 - 10.14
本町オリベストリート地区



荒川豊蔵から始まる現代志野

2024.10.12 - 2025.2.24
多治見市美濃焼ミュージアム



開窯220年記念 幸兵衛窯歴代「染付」展 ~コバルトブルーの系譜

2024.10.18 - 11.17
幸兵衛窯本館2階展示室(資料館・工芸館も見学可)



小さな宇宙展 vol.8

2024.10.19 - 11.10
市之倉さかづき美術館 ギャラリー宙



細川令子展

2024.11.2 - 11.14
ガレリア織部



にじゅうごしゅうねんきかく てん

25周年企画 ぐいのみ展
2024.11.2 - 11.17
ギャラリー数寄



やきもの最前線 国際陶磁器展美濃受賞者の現在 -Part2-

2024.11.2 - 2025.1.13
多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス



荒川豊蔵資料館 秋の特別公開

2024.11.16 - 11.17
荒川豊蔵資料館



多治見市

第81回 たじみ陶器まつり

2024.10.13 - 10.14
美濃焼卸センター



第13回 美濃焼祭

2024.10.12 - 10.14
JR多治見駅南北連絡線 他



第52回 多治見まつり

2024.11.3
多治見市中心市街地



瑞浪市

みずなみ陶器まつり

2024.11.10
瑞浪市産業振興センター



広域

セラミックパレー ART in MINO 土から生える2024

2024.10.18 - 11.17
東濃3市6展示会場
(ギャルリ百草と百草の森、高田窯場跡、
旧地球回廊 軍需工場跡地、中島驛通、
小山富士夫 花の木窯、下石工組 旧輪業工場)



ぎゅっと集めた東美濃 ~〇〇の秋が大集合!!~

2024.10.26 - 10.27
テラスゲート土岐
まちゆいイベントスペース



秋の栗きんとん ・栗菓子フェア

2024.10.26 - 10.27
テラスゲート土岐
まちゆい館内
もてらす東美濃



イベント等

美濃焼オカリナの絵付け &演奏ワークショップ

2024.8.3 - 9.29
多治見市・瑞浪市・
土岐市・可児市の4市



やきもの最前線 レクチャー

「現代陶芸の立ち位置」
(講師：菅谷薫夫)

2024.10.19
多治見市文化工房
ギャラリーヴォイス



たまき杯

2024.10.26 - 11.10
玉木酒店
2F kakurega



特別協賛事業

下記の2施設では、7館入場セット券を提示すると特典が得られます。

こども陶器博物館

多治見市旭ヶ丘10-6-67

TEL 0572-27-8038

フェスティバル期間中

入館料 **10% OFF**

市之倉さかづき美術館

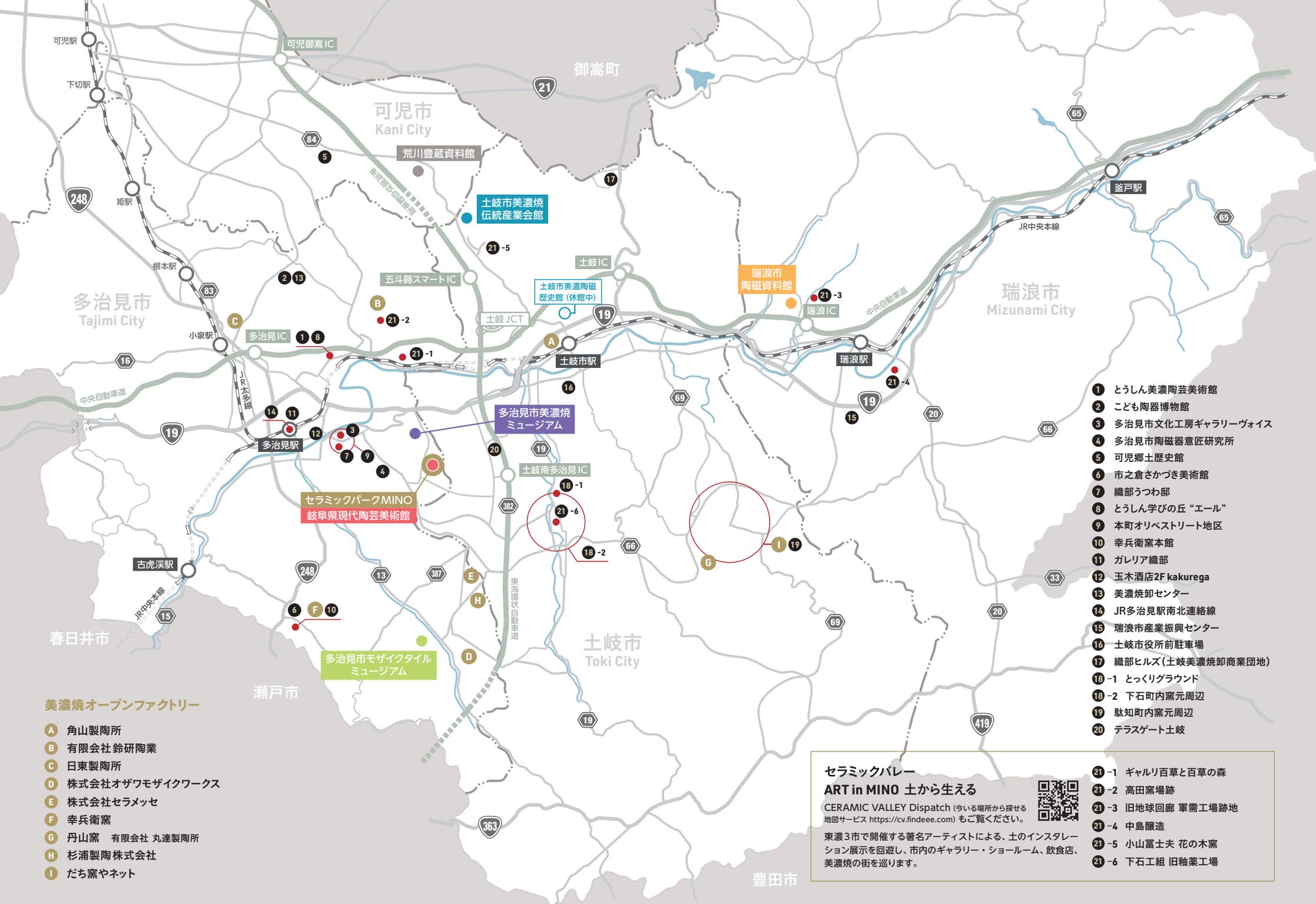
多治見市市之倉町6-30-1

TEL 0572-24-5911

フェスティバル期間中

入館者に**ポストカードをプレゼント**

※QRコードは、掲載期間等によって内容が変更する場合があります。



美濃焼オープンファクトリー

- A 角山製陶所
- B 有限会社 鈴研陶業
- C 日東製陶所
- D 株式会社オザワモザイクワークス
- E 株式会社セラメッセ
- F 幸兵衛窯
- G 丹山窯 有限会社 丸連製陶所
- H 杉浦製陶株式会社
- I だち窯やネット

- 1 どうしん美濃陶芸美術館
- 2 こども陶器博物館
- 3 多治見市文化工房ギャラリーヴォイス
- 4 多治見市陶磁器意匠研究所
- 5 可児郷土歴史館
- 6 市之倉さかづき美術館
- 7 織部うつわ邸
- 8 どうしん学びの丘“エール”
- 9 本町オリベストリート地区
- 10 幸兵衛窯本館
- 11 ガレリア織部
- 12 玉木酒店2F kakurega
- 13 美濃焼卸センター
- 14 JR多治見駅南北連絡線
- 15 瑞浪市産業振興センター
- 16 土岐市役所前駐車場
- 17 織部ヒルズ(土岐美濃焼卸商業団地)
- 18-1 とっくりグラウンド
- 18-2 下石町内窯元周辺
- 19 駄知町内窯元周辺
- 20 テラスゲート土岐

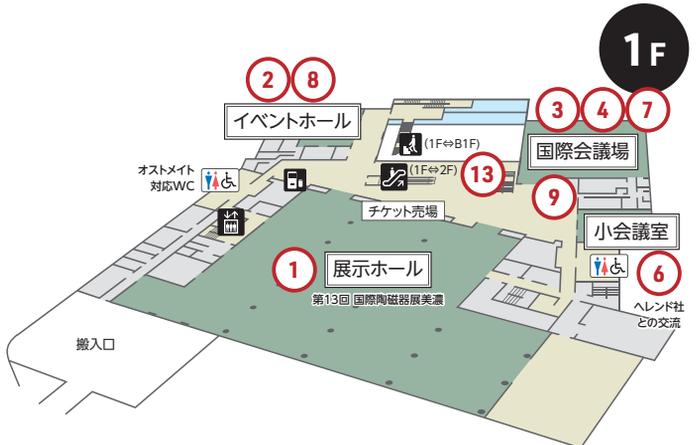
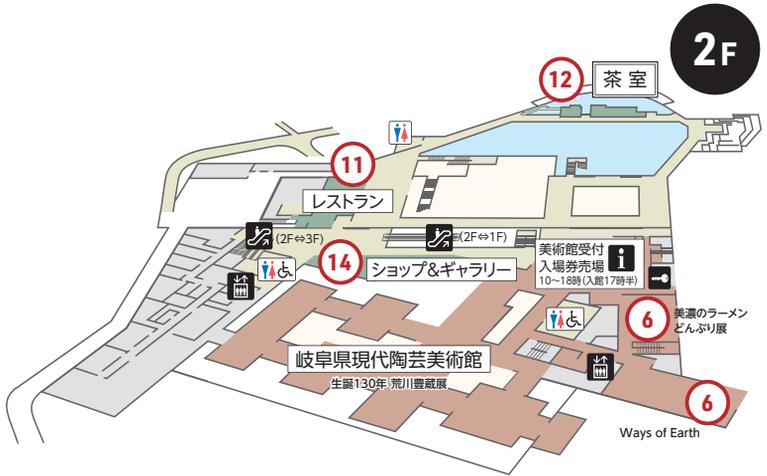
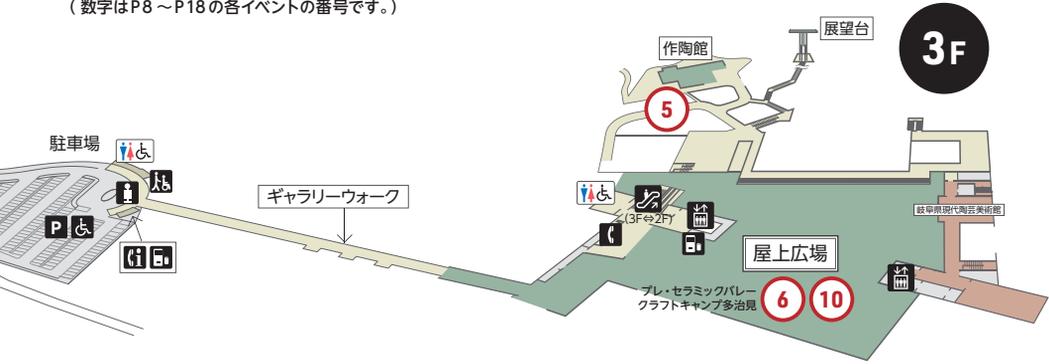
セラミックバレー
ART in MINO 土から生える
 CERAMIC VALLEY Dispatch (今いる場所から探せる地図サービス <https://cv.findeee.com>) もご覧ください。
 東濃3市で開催する著名アーティストによる、土のインスタレーション展示を回遊し、市内のギャラリー・ショールーム、飲食店、美濃焼の街を巡ります。



- 21-1 ギャラリー百草と百草の森
- 21-2 高田窯場跡
- 21-3 旧地球回廊 軍需工場跡地
- 21-4 中島醸造
- 21-5 小山富士夫 花の木窯
- 21-6 下石工組 旧釉薬工場

セラミックパークMINO 館内図

(数字はP8～P18の各イベントの番号です。)



駐車場



トイレ



エレベーター



エスカレーター



階段 案内



案内電話 自販機



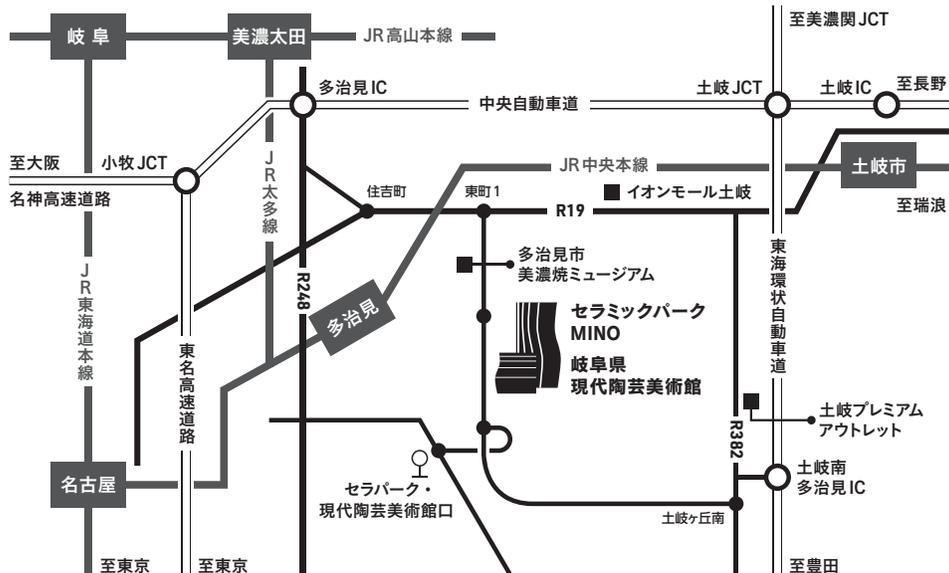
バス停留所 公衆電話



車椅子置場



コインロッカー



電車でのアクセス

東京・大阪方面

名古屋駅 ⇒ JR中央本線 ⇒ 多治見駅

多治見駅 から

⇒ タクシー 約10分

⇒ バス

多治見駅南口 より発車

[土・日・祝日]

▶ 多治見市コミュニティバス (ききょうバス)
「オリベ観光ルート」

セラミックパークMINO ロータリー 着

(乗車時間 約20分)

[平日]

▶ 東鉄バス「瑞浪駅前」「妻木上郷」「駄知」行き

セラパーク・現代陶芸美術館口 バス停

(乗車時間 約15分) 下車後、徒歩 約10分

自動車でのアクセス

東京方面

東名高速 ⇒ 豊田JCT経由、新東名高速 ⇒ 豊田東JCT経由

富山方面

東海北陸自動車道 ⇒ 美濃関JCT経由

長野方面

中央自動車道 ⇒ 土岐JCT経由

東海環状自動車道 土岐南多治見IC 約5分

大阪方面

名神高速 ⇒ 小牧JCT経由

中央自動車道

多治見IC から国道19号を土岐・中津川方面に約10分

⇒ 東町1の交差点を右折

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5 セラミックパークMINO内
TEL 0572-25-4111



<https://www.icfmino.com>

